

## 東京藝術大学版画研究室から生まれたアートの世界

版画作家の育成において、わが国の最高水準の教育機関のひとつである東京藝術大学版画研究室。そこからは、これまで多くの著名なアーティストが輩出されてきました。一方で、若手アーティストがデビューしてゆく道のりは長く厳しいのが現実です。

2002年、株式会社セプテーニ（現株式会社セプテーニ・ホールディングス）は、未来のアーティストを支援するため、東京藝術大学版画研究室に「セプテーニ奨学金」を設置しました。また、その才能を実践的に支援するため、東京芸大版画研究室との産学協同の試みとして、学生に同社のクライアント企業への贈答用絵画の制作を依頼する試みである、「ASC Present Project」（セプテーニ・エ디션賞）を立ち上げました。本プロジェクトは今年で5年を迎え、15名のアーティストを輩出し、制作された作品は全国の贈答先企業のパブリックスペースに展示発表されています。

本展では、アート系大学と企業との産学協同プロジェクトという新しい試みにより生まれた作品の数々を紹介するとともに、それらアートを生み出す現場である東京藝術大学版画研究室について、指導教員を中心とした、版画作品の名作により紹介するものです。

皆様におかれましては、本展におきまして、版画の幅広い魅力をお楽しみいただく機会となれば幸いです。

フォーエバー現代美術館  
チーフキュレーター 加藤 淳